

ばく露作業報告対象物質（主な別名、有害性、用途の例 ほか）

	物質名 【CAS】	【コード番号】 報告を 要しない 含有率	主な別名	有害性情報 （発がん性、生殖毒性、神経毒性評価等、 管理濃度、許容濃度等）	用途の例（原料等） と構造式
1	アクロレイン 【107-02-8】	【233】 1%未満	アクリルアルデヒド、プロパー2-エナール、プロペナル、プロペンアルデヒド	<p>【発がん性】 IARC：3 ACGIH：A4</p> <p>【GHS】 ・飲み込むと生命に危険 ・皮膚に接触すると有毒 ・重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷 ・吸入すると生命に危険 ・眠気又はめまいのおそれ ・呼吸器、中枢神経系、肝臓の障害 ・長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害</p> <p>【許容濃度等】 ACGIH：STEL C 0.1ppm 産衛学会：0.1ppm,0.23mg/m³</p>	<p>メチオニン（医薬品や飼料の原料）合成原料、グルタルアルデヒド、ピリジン、アリルアルコール、グリセリンの合成原料、架橋剤、繊維加工剤</p> <p>CH₂=CHCHO</p>
2	N-イソプロピル-N'-フェニルベンゼン-1,4-ジアミン 【101-72-4】	【234】 0.1%未満	1-フェニルアミノ-4-イソプロピルアミノベンゼン、4-アニリノフェニル、N-イソプロピル-N'-フェニル-p-フェニレンジアミン	<p>【GHS】 ・飲み込むと有害 ・眼刺激 ・アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ ・肝臓、血液系、腎臓の障害のおそれ ・長期又は反復ばく露による肝臓、血液系の障害のおそれ</p> <p>【許容濃度等】 ACGIH：未設定 産衛学会：未設定</p>	<p>オゾン劣化防止剤、有機ゴム薬品（老化防止剤）</p> 
3	塩化水素 【7647-01-0】	【235】 0.1%未満	—	<p>【発がん性】 IARC：3 ACGIH：A4 無機強酸のミストとして IARC：1</p> <p>【GHS】 ・飲み込むと有害 ・吸入すると生命に危険、有毒 ・重篤な皮膚の薬傷、眼の損傷 ・吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ ・呼吸器系の障害 ・長期又は反復ばく露により歯、呼吸器系の障害</p> <p>【許容濃度等】 ACGIH：STEL C 2ppm 産衛学会：2ppm,3.0mg/m³</p>	<p>エッチング用、分析用試薬、医薬・農業・染料・香料などの原料、食品製造用、排水処理用</p> <p>HCl</p>
4	ジチオリン酸O,O'-ジエチル-S-(2-エチルチオエチル) 【298-04-4】	【236】 0.1%未満	ジスルホトン、エチルチオメトン、ジエチル-S-(エチルチオエチル)-ジチオホスファート、O,O'-ジエチル-S-(2-エチルチオエチル)-ジチオホスファート	<p>【発がん性】 ACGIH：A4</p> <p>【GHS】 ・飲み込むと生命に危険 ・皮膚に接触すると生命に危険 ・吸入すると生命に危険 ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い ・神経系の障害 ・長期又は反復経口ばく露による神経系の障害</p> <p>【許容濃度等】 ACGIH：TWA 0.05 mg/m³ (IFV) 産衛学会：未設定</p>	<p>農業（殺虫剤）</p> 

	物質名 【CAS】	【コード番号】 報告を 要しない 含有率	主な別名	有害性情報 (発がん性、生殖毒性、神経毒性評価等、 管理濃度、許容濃度等)	用途の例 (原料等) と構造式
5	硝酸 【7697-37-2】	【237】 1%未満	—	<p>【発がん性】 無機強酸のミストとして IARC : 1</p> <p>【GHS】 ・重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷 ・吸入すると生命に危険 ・呼吸器の障害 ・長期又は反復ばく露による呼吸器、歯の障害</p> <p>【許容濃度等】 ACGIH : TWA 2ppm, STEL 4ppm 産衛学会 : 2ppm, 5.2mg/m³</p>	<p>硝酸塩 (爆薬, 肥料等) 原料, TDI・アジピン酸ニトロベンゼン等ニトロ化用, IC (集積回路) の酸洗い, ウラン・プルトニウムの回収溶媒, エッチング剤</p> <p>HNO₃</p>
6	弗化水素 【7664-39-3】	【238】 0.1%未満	フッ化水素、フッ化水素酸、フッ酸	<p>【発がん性】 無機強酸のミストとして IARC : 1</p> <p>【GHS】 ・吸入すると有毒 ・重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷 ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ ・遺伝性疾患のおそれの疑い ・呼吸器、臓器の障害 ・長期又は反復ばく露による骨、歯、下垂体、甲状腺、腎臓、神経系、肝臓、精巣、気管支の障害</p> <p>【許容濃度等】 ACGIH : TWA 0.5ppm, STEL C 2ppm 産衛学会 : 3ppm, 2.5mg/m³</p>	<p>触媒 (重合, 加水分解), 冷媒 (フロンガス) 原料, フッ素樹脂原料, フッ素化合物原料, 半導体 (高純度) のエッチング用</p> <p>HF</p>
7	硫酸 【7664-93-9】	【239】 1%未満	—	<p>【発がん性】 無機強酸のミストとして IARC : 1 ACGIH : A2 NTP : K</p> <p>【GHS】 ・飲み込むと有害のおそれ ・吸入すると生命に危険 ・重篤な皮膚の薬傷・目の損傷 ・呼吸器系の障害 ・長期又は反復ばく露による呼吸器系の障害</p> <p>【許容濃度等】 ACGIH : TWA 0.2mg/m³(T) 産衛学会 : 1 mg/m³</p>	<p>肥料・繊維・無機薬品・金属製錬・製鋼・紡織・製紙・食料品工業等での原料・助剤・排水処理剤等</p> <p>H₂SO₄</p>

※それぞれの物質を含有する混合物において、「報告を要しない含有率」に該当する作業については、報告の必要がありません。

※有害性情報、用途の例については、厚生労働省モデル SDS の情報などを参照しています。

発がん性評価区分

IARC	<ul style="list-style-type: none"> : 国際がん研究機関 1 ヒトに対して発がん性がある 2A ヒトに対しておそらく発がん性がある 2B ヒトに対する発がん性の可能性がある 3 ヒトに対する発がん性については分類できない 4 ヒトに対しておそらく発がん性がない
ACGIH	<ul style="list-style-type: none"> : 米国産業衛生専門家会議 A1 ヒトに対する発がん性が確認された物質 A2 ヒトに対する発がん性が疑わしい物質 A3 動物実験では発がん性が確認されたが、ヒトの発がん性との関連が未知の物質 A4 ヒトに対する発がん物質と分類しかねる物質 A5 ヒトに対する発がん性の疑いのない物質
NTP	<ul style="list-style-type: none"> : 米国・国家毒性プログラム K ヒトに対して発がん性があることが知られている物質 R 合理的にヒト発がん性があることが懸念される物質
産衛学会	<ul style="list-style-type: none"> : 日本産業衛生学会 第1群 人間に対して発がん性のある物質 第2群A 人間に対しておそらく発がん性があると考えられる物質 (証拠がより十分な物質) 第2群B 人間に対しておそらく発がん性があると考えられる物質 (証拠が比較的十分でない物質)

GHS 有害性情報

GHS	<ul style="list-style-type: none"> : 「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」(国連勧告) 個々の化学物質について、危険有害性の分類項目ごとに、それぞれの危険有害性の程度を区分し、その区分に応じた絵表示、注意喚起語、危険有害性情報等を表すこととしています。
-----	---

許容濃度等

ACGIH	<ul style="list-style-type: none"> : 米国産業衛生専門家会議が勧告値として発表している許容濃度 (ほとんどすべての労働者に健康上の悪影響がみられないと判断される濃度) TWA 8時間時間加重平均 STEL 短時間ばく露限界 C 上限値 (IFV) インハラブル粒子および蒸気 (T) ソーラシック粒子
産衛学会	<ul style="list-style-type: none"> : 日本産業衛生学会が勧告値として発表している許容濃度